

地球通信

KOKUSAI KOTOKOBA GAKUIN
学校法人 国際ことば学院

学校法人 国際ことば学院 法人本部事務局
〒422-8076 静岡市駿河区八幡3-2-12
TEL:054-286-0788 FAX:054-260-7836
http://www.kotoba.ac.jp

留学生の出身国をご紹介します



オマールさん レオさん イ・ウォンさん

世界各国から留学生が集まる国際ことば学院。現在国際ことば学院外国語専門学校に通う、小野寺神雄さん(日本・ブラジル)、イ・ウォンさん(韓国)、オマールさん(マリ)に、出身国のことを教えてもらいましたので、ご紹介いたします。

◆出身国のいいところは何ですか？

小野寺さん(以下レオさん)：笑顔で生活している人が多いと思います。自然が多く、綺麗なところですよ。

イ・ウォンさん：出前の文化があり、24時間食事を届けてくれて便利です。韓国料理もおいしいです。銀行や携帯の業務処理サービスが速いです。交通も便利です。

オマールさん：フレンドリーな人が多いです。知らない人でも、声をかけて一緒にご飯を食べたりします。



笑顔がまぶしいレオさんのご家族



おいしい韓国料理

◆出身国と日本との違いはありますか？

レオさん：ブラジルでは人と人がすぐ仲良くなります。話をすると声が高くなります。だからどこへ行っても騒がしいです。僕も、日本でもつい電車の中でうるさい声で話してしまいました。その時は失礼しました。

イ・ウォンさん：日本人は趣味の幅が広いと思います。「コスプレ」、「サバイバルゲーム」など、驚くような趣味があります。日本は泥棒があまりいないと思います。小銭一つ落としても拾って、持ち主に届けます。また日本は電車の中が静かだと思えます。

オマールさん：日本ではお箸を使って食事をすることに驚きました。食文化も違います。でも今は私は納豆も食べられます。私はマリでバスケットボールをやっている、高校から日本に留学して、日本でもバスケをしています。マリではコーチに怒られることはありませんでしたが、日本ではコーチに怒られることがあります。最初は戸惑いましたが、今ではそれは必要なことだとわかります。私は今、学校に通いながら、焼津市でバスケの3x3のプロ選手としても活動しています。



ゴールを決めるオマールさん

◆出身国のお気に入りの写真を見せてください！写真のエピソードも聞かせてください。

レオさん：僕はサンパウロ出身ですが、リオデジャネイロを一回観光しました。海や山も素敵でした。そしてもちろんコルコバードのキリスト像(Cristo Redentor)は絶対、見るべきです。日本の富士山のようなシンボルです。新世界七不思議にも選ばれています。

イ・ウォンさん：韓国は、軍隊が義務づけられている国です。国を守るための義務を果たすために21ヶ月間訓練を受けます。写真はその時のものです。万が一有事の際は私は何を差し置いても国に駆けつけます。

オマールさん：家族の写真がお気に入りです。私はマリでは空手もやっています。



リオデジャネイロの景色



軍服を着たイ・ウォンさんとご家族

空手の道着を着た幼少期のオマールさん(右)とご家族

◆出身国について、紹介したいことはありますか？

レオさん：ブラジル人の挨拶です。男性同士はハンドシェイクとハグをします。男性と女性又は女性同士はほっぺにキスとハグをします。初対面でもほっぺにキスをします。地方によってキスの回数が違いますので、ブラジルに行くときは気を付けてくださいね。

イ・ウォンさん：ソウルに「63ビル」という経済の発展の象徴となっている金色のビルがあります。明洞はファッションの街として人気です。非武装地帯(DMZ)にもよく観光客が訪れます。本当はもっと紹介したいところがあるけれど、数え切れません。

オマールさん：マリには伝統的な踊りがあります。言語は公用語であるフランス語の他に、バンバラ語が多く使用されていますが、他にも様々な民族のことばがあります。

レオさん、イ・ウォンさん、オマールさん、ありがとうございました！

2020年度生76名が卒業。未来を真っすぐみつめて



3月4日(木)に2020年度卒業式が行われました。昨年に引き続き、卒業生と教職員のみでの開催となりましたが、温かい気持ちで学生たちを送り出すことができました。卒業生にとってこの1年はコロナ対応の中、初めてのことで、戸惑いや不安も多かったと思います。そんな中、学生一人一人いろんな気持ちを胸に専門学校を巣立っていきました。卒業生のみなさんの更なる成長と今後の活躍をお祈りしています。



2020年度卒業生による中国語成果発表会



中国語専科では、毎年卒業生の成果発表会を行っています。コロナの関係で本校もオンライン授業が増えましたが、発表は感染予防対策を取りながら対面で行いました。発表の内容はクラス②による課題文朗読、サブクラスによる童話の朗読、クラス①によるプレゼンテーションでした。特にプレゼンテーションは初の試みでした。今回の発表は2年間勉強すれば、中国語で調べ、中国語で発表ができるようになることを我々に教えてくれました。さらに、オンライン授業でも対面同等の学習効果を維持できることが証明されました。コロナ禍でイベントが少なかった卒業生に久々の晴れ舞台を提供することができて、ほっとしています。(鄭)

地元のことを英語で学ぼう♪

4月、桜の花びらが舞う八幡山で、神社の歴史や参拝の方法、古墳、城址跡などを英語で学び、駿河湾、富士山をのぞみながら、深海で生息するタカアシガニの話など、静岡ならではのご当地ネタも英語で学びました。コロナ禍でなかなかイベントも思うようにできない中、限られた時間ですが、教室を飛び出し、青空の下で学生たちは生き生きとした笑顔を見せていました。(田中)



125名の新入生*ようこそ! KKGへ

今年度は13か国125名の新入生たちが新たに専門学校へ仲間入りしました。現在の状況により、今回の入学式はオンラインでの開催となりました。初めての試みでしたが、パソコンの画面いっぱいになった新入生たちの顔からはちょっとした不安と、これから始まる学校生活への期待がひしひしと伝わってきました。

2022年4月入社 of 就職活動が本格的に動き始めました!!

就職対策授業は週1回から週2回に増やし、4月30日には内定第1号の学生が現れ、コロナで厳しい状況の中でもきちんと活動すれば内定・就職に繋がることを見せてくれました。また今年度は早い段階での企業説明会も企画しています。同時に3月卒業した学生への就職支援も引き続き行っていきます。*写真は4月に学校で行われ、その後、内定を頂いた学生2名の説明会です。(山西)



令和2年度卒業式

3月16日(火)、グランシップにて卒業式が行われました。今年度は96人の卒業生を送り出しました。感染症対策をしながらの開催となり、限られた条件の中ではありませんでしたが、学生たちは晴れやかに壇上に立ち卒業証書を手にしていました。入学時から撮りためていた、学生たちの学校生活ムービーを上映し学生生活を振り返る一幕もあり、懐かしい映像を見て、学生たちは楽しそうに盛り上がっていました。卒業生の皆さんの今後の成功をお祈りしています。



あきらめずに日本に来てくれた学生たちを歓迎!



4月10日(土)、静岡市地域福祉共生センター「みなくる」にて入学式が行われました。本来は昨年(2020)の4月、7月、10月に入学する予定が、日本の入国規制によって、当初の予定より大幅に遅れて来日してきた新生入生たちが出席しました。新生入生たちは昨年(2020)の10月から今年(2021)の1月にかけて、日本に来ることができました。そんな学生たちを歓迎するため、ささやかながら入学式を開催することになりました。式では、野田校長が新生入生インタビューをしたり、新生入生代表のヴェアさんが日本留学の目標を話してくれました。また、在校生のファップさんからも、後輩たちへの励ましの言葉がありました。

まだ大変な状況が続いていますが、健康に気を付けて留学生活を送ってほしいと思います。



新年度オリエンテーション

4月から新年度がはじまり、在校生へ日本の生活のルールや学校のルールを再度確認してもらうためのオリエンテーションを行いました。保険や年金のしくみ、交通ルールなど留学生にとってはなじみのない制度が多いですが、学生たちは真剣に説明を聞いていました。

学生の皆さん、ぜひ学校のルールなどを



理解し、しっかりと守りましょう。

学校をきれいに!

4月30日(金)、学校の大掃除を行いました。教職員のほか、ボランティアで美化活動に協力してくれる学生も参加し、校舎や寮をきれいにしました。普段使っている教室に感謝の気持ちをごこめ、丁寧に拭き掃除、掃き掃除をしました。すっきりした気持ちでゴールデンウィークを迎えました。手伝ってくれた学生の皆さん、ありがとうございます。

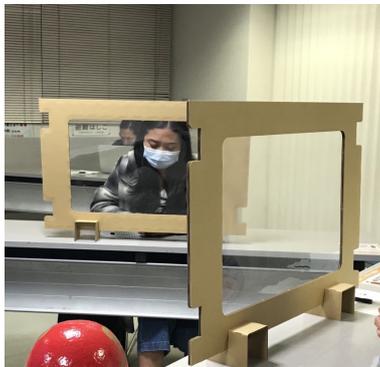


こうつうあんぜんきょうしつ ～交通安全教室～

さくねん あき らいにち こうつうあんぜんきょうしつ おこな
 昨年さくねんの秋あき、来日らいにちした学生がくせいのために、2月3日ふがくせいすうに交通安全教室はんぶんを行
 いました。コロナけんないかんせんじょうきょうの県内感染ふ状況を踏がくせいすうまえ、学生数はんぶんを半分わに分
 け、実施じっししました。警察官けいさつつかん・交通安全指導員こうつうあんぜんしどういんの方かたから、標識ひょうしきや交通
 ルールこうつうの説明せつめいをしていただきました。「一時停止いちじていし」など難しい言葉むずも多く、先輩ことばの通訳おおに熱心せんぱい
 に耳みみを傾かたむけていました。その後ご、実際じっさいに自転車じてんしゃに乗り、指導員しどういんの方かた々に丁寧かたがたな指導ていねいを受け、
 自分じぶんの運転うんでんの仕方しかたを振り返りふ、理解かえを深めりることができたふかと思います。
 おも



ふじしこくさいこうりゅうきょうりょくどくしゅぶたいようせいこうざ ～富士市国際交流協力特殊部隊養成講座=使ってみよう!やさしい日本語講座=～



ふじしこくさいこうりゅうしつ さそ かた こうりゅうかい
 富士市国際交流室ふじしこくさいこうりゅうしつからのお誘いさそで、1月26日かたに日本こうりゅうかいの方かたとの交流会
 さんか あき らいにち
 に参加さんかしました。秋あきに来日らいにちしたクマーシャーさん、ヨンニさん、ム
 ザファルさんふじしみんかつどうこうりゅうがドキドキしながら、富士市民活動交流センター・コ
 ミュニティむfかいじょうに向かいかくました。会場かいじょうでは、各テーブルの上かくにパー
 テーションたが立てられ、距離きょりを保ちながらたものコミュニケーションと
 なりました。初めはじは心配しんぱいでしたが、皆みなさんの温かいあたた「やさしい日本
 語」ささに支えられかえました。帰かえるとき、「先生せんせい、とっても楽しかった」と笑顔えがおいっぱいかおの顔を見
 て、ささやかなことよるこに喜びかんを感じるりゅうがくせい留学生たちいとを愛おしくおも思わずにはいられませんでした。

だい ～第18回日本語スピーチコンテスト～

しゅさい ふじしこくさいこうりゅうきょうかい きょうさん ふじさんよしわら
 主催：富士市国際交流協会 協賛：富士山吉原ロータリークラブ

ふじ おこな
 3月14日にゅうじょうせいげんに、ラ・ホール富士ばんぜんにおいてスピーチコンテストが行われま
 した。入場制限かいさいをかけるなど万全こころを期しての開催かんしゃもうに心より感謝あ申し上
 げます。当校とうこうからはネパールのジートさんかみさまたいあくが「神様対悪」、ミャンマー
 のチョーさんじかんが「時間を与えてください」、同じくミャンマーのミヤッ
 トさんあたが「読書おな」というテーマおなで、みんな暗記おなするまで練習おなし、心を込
 めてスピーチどくしょをしてくれました。そして、優秀賞あんきにミヤットさんれんしゅうが選
 ばれました。表彰式ひょうしょうしきで、小長井市長こながいしちょうより表彰状ひょうしょうじょうをもらった彼女は、
 ぎゃく かみ あ ほし しちょう じつ
 逆さかに紙バンドかみで編んだ「ミャンマーの星」のストラップほしを市長しちょうにプレゼントじつしました。実は
 こんかい おうぼ ご お
 今回のコンテストかぞくに応募れんらくしたのは昨年ともだちの12月なでした。その後なかにミャンマーではクーデターひっしが起
 き、家族すがたと連絡ほんとうがとれなかつたり、友達せつが亡いちにちくなつたりした中で、必死はやにこらえて練習へいわして
 いる姿いとを見て、本当に切おとずなくなりました。一日いも早くミャンマーに平和いが訪れることを祈いのって
 やみません。



大和まほろば卒業式

3月6日(土)に本校では3回目となる卒業式が執り行われました。昨年同様、卒業生と教職員、数名の1年生のみの参加となりましたが、ZOOMをつないで母国のご家族にも観覧していただくなどして、できるかぎり多くの方に、晴れの門出をお祝いいただきました。

今年度の卒業生は、耐え忍ぶことの多い1年となりましたが、その分たくましく成長してくれたことと幸いです。卒業生の今後の活躍をお祈りいたします。



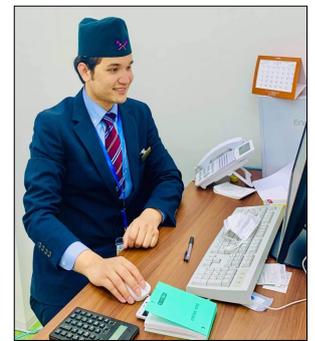
課外活動・安倍文殊院

5月14日(金)に安倍文殊院へ見学に行きました。智慧を司る文殊菩薩をまつり、留学生の大先輩、遣唐使であった阿倍仲麻呂ゆかりのお寺ということで、留学生に縁の深いお寺です。

学校から徒歩で20分のところにあり、梅雨入り直前の晴天に恵まれ、平日午前の静かなお寺の雰囲気、活動自粛が余儀なくされる中、学生たちにとってはよい気分転換になったかと思えます。

ようこそ先輩 本校の第一期生であり、大阪の専門学校に進学後、この春に就職をしたネパール人のディパクさんからメッセージをもらいました。

「私は春から京都のホテルのフロントとして仕事をしています。日本語学校の時に先生たちに親切に教えていただきながら頑張ったからこそ、専門学校では留学生の代表としてイベントに出させていただいたり、今はこのようところで仕事ができています。後輩の皆も日本語はとても大事ですので、必死に頑張っ身につけてください。応援しています。」(原文一部修正)



交通安全教室 1月に来日した学生に向けて、桜井警察署の方に交通安全教室を開いていただきました。梅雨入りし、雨の多い季節となりますので、自転車に乗る時はしっかりとカッパを着て、安全な生活を送ってほしいと思います。

進路状況報告

卒業生が22名おりましたが、なんとか皆、無事に送り出すことができました。今年度は大阪への進学を中心に、奈良、静岡、徳島、京都など地域的にバラエティに富み、また就職や特定技能ビザの取得など、近年の進路の多様化を感じる結果となりました。

2020年度 卒業生進路

大学2 短大2 専門13 就職3 帰国2 計22名

【分野別進学先】

調理 1 自動車 1 介護 3 語学 4 ホテル3

IT 2 ビジネス 2 進学 1

学校法人 国際ことば学院 お知らせ



国際ことば学院外国語専門学校 KKGワールドフェスティバル 開催予定

日時：2021年7月31日(土)

詳しくはHPをご覧ください。

Multilingual末續Library便り⑤



昨年来、イベントや広報など積極的な活動は自粛中ですが、新たなブック倶楽部のメンバーは増えています。DVDで楽しむ英語Book倶楽部も二年目を迎え、コロナで足踏みしながらも、今年度は『プラダを着た悪魔』に挑戦中。左の画像は、Book倶楽部メンバーによる絵本の翻訳とブックレビュー。

<新着>

多言語書籍も増えました。県立大学の鈴木さやか先生からご寄贈頂いた、地元清水に伝わる「羽衣伝説」の各国語版を展示中。(右の写真→)

一昨年の朗読会で取り上げた英語版をはじめ、日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・インドネシア語が揃いました。

多読向け書籍として、中学英語で読めるコミックでEnglish15冊他、中国語初級多読読み物30冊他。日本語および韓国語の絵本やエッセイ20冊他。二言語以上での読み比べできる絵本も増えています。最新の人気作は、“I want my hat back.”(Jon Klassen著)、『どこいったん?』(長谷川義史 翻訳)です。クマが無くした赤い帽子、見つかるでしょうか。



図書室担当 西貝理恵子

<編集後記> 新年度の新体制が始まったかと思えば、もう梅雨入りの時期となり、時間があっという間に経過してしまう気がします。梅雨といえば、昔ある学生が、「雨はロマンティックだから好きです」と言っていたことを思い出しました。忙しい日常の中にも些細な喜びを見つけられるといいなあと思います。

編集長：甲斐 / 編集：山田、水藤、佐藤

KOKUSAI KOTOBA GAKUIN GROUP 学校法人 国際ことば学院グループ

COLLEGE OF FOREIGN LANGUAGES
国際ことば学院外国語専門学校

〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川3-9-4 TEL:054-270-7091 / FAX:054-286-7091

WEBSITE:<http://sp.kotoba.ac.jp>

E-MAIL:ask@kotoba.ac.jp

JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
国際ことば学院日本語学校

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡3-2-28 TEL:054-284-8383 / FAX:054-284-8338

WEBSITE:<http://jp.kotoba.ac.jp>

E-MAIL:info@kotoba.ac.jp

MT.FUJI JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
富士山日本語学校

〒416-0944 静岡県富士市横割1-6-16 TEL:0545-30-8680 / FAX:0545-30-9558

WEBSITE:<http://fujisan.kotoba.ac.jp>

E-MAIL:fujisan@kotoba.ac.jp

YAMATO MAHOROPA JAPANESE LANGUAGE SCHOOL
大和まほろば日本語学校

〒633-0053 奈良県桜井市谷10-1 TEL:0744-44-2424 / FAX:0744-47-2430

WEBSITE:<http://yamato.kotoba.ac.jp>

E-MAIL:yamato@kotoba.ac.jp